一般社団法人 発明推進協会
東京都港区虎ノ門二丁目９番１号　虎ノ門ヒルズ
江戸見坂テラス E-mail：kensyu-kai@jiii.or.jp

化学・バイオ分野の進歩性判断のポイント

ロングセラーの名著「化学・バイオ特許の出願戦略」の著者が、固有の問題が多々ある化学・バイオ分野の進歩性判断について詳説!

■開催日時

（前編）2026年10月20日［火］

（後編）2026年10月27日［火］

◆時間14:00～16:30（途中休憩有り）

※申し込んでいただいた皆様には、セミナー終了後にセミナーを録画した動画（2週間閲覧可能）の閲覧用URLをお送りいたしますので、セミナー当日に都合がつかない方も受講可能です。

進歩性判断は、審査、審判、訴訟の実務において最も重要であり、知財実務において最大の関心事です。進歩性を主張する立場の場合もあれば、否定する側になる場合もありますが、いずれであれ進歩性判断で勝利を勝ち取るには、それ相応の着眼点、切り口などが重要です。しかしながら、進歩性判断には、種々の判断視点があり、見解の分かれる面も少なくなく、問題が多いのが実情です。とりわけ化学・バイオ分野では、効果の顕著性を巡る争いが多く、後出し実験データの扱いや、内在特性などの他分野にはみられない固有の問題が多々あります。

今回のセミナーでは、各種論点の中でも、化学・バイオ分野に関するものに焦点を絞り、近年のいくつかの注目判決を参照しつつ、進歩性判断をどのようにすべきかについて、知財実務者にとってヒントになるよう詳しく解説いたします。是非この機会に多数ご参加くださいますようご案内申し上げます

●講　師： 細田国際特許事務所　所長・弁理士 **細田　芳徳　氏**
（日本知的財産協会研修講師・日本弁理士会実務修習講師）

●会　場： Zoomを使ったオンラインセミナー